

オン オフ

給食用食材確保に奔走

大淵 翠 さん(38) 道の駅おが「オガーレ」(男鹿市船川港船川)



働き始めて2年目になります。「オガーレ」に出品する地元農家に、学校給食用の食材を提供してもらい、納入する業務を担っています。

繁忙期にはオガーレ内の軽食コーナーでジェラート販売も担当します。

男鹿市出身。秋田市内の高校を卒業後、男鹿市内の温泉施設などで働きましたが、昔から地域の魅力を伝えられる仕事に興味があり、オガーレを運営する会社に入社しました。

元々、道の駅を巡ることが好きでした。地域ならではの土産や食が集まり、観光客をその土地のファンにできるという点が道の駅の特長だと思います。

給食用食材に必要な野菜などについては、市内の給食センターから希望を取り寄せてもらっています。必要な量を地元農家から集めるのが私の仕事です。

天候不順で出荷時期がずれたり、生育不良などで必要な量を確保するのに難儀することもあります「地元食材を子どもたちに届けたい」という思いで頑張っています。

男鹿市は、地元食材の給食への活用に関心をもち、力を入れています。地元おいしい食材があることを知ってもらうだけでなく、農家の大変さや農産物への愛情も感じてもらう、食育にもつながればいいですね。

同僚に「景色が良くきれいな花が多いのが魅力」と誘われてから、山登りが趣味になりました。今月は鳥海山に挑戦しました。今後もたくさんの山に挑戦したいです。(聞き手＝阿部拓郎) (令和8年10月21日(水) 秋田魁新聞より一部抜粋)